

# 地域密着型金融推進の取り組みについて

(平成28年4月～平成29年3月)

## 中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

### 中期経営計画「Create Chance Create Future」

～福井銀行は地域とともに、お客さまとともに、未来へのチャンスを創り出します～

福井銀行では、平成27年4月から平成30年3月までの3年間について、中期経営計画「Create Chance Create Future」に基づいて、「地域密着型金融の実践」に取り組んでおります。

#### 【中期経営計画「Create Chance Create Future」（平成27年4月～平成30年3月）の概要】

##### ■中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

この中期経営計画では、地域金融機関として金融サービスを通して、地域の『働く人』『働く場所』を増やすことが、“地域の活性化”すなわち“企業理念”の実現につながるものと位置付けて取り組んでおります。

##### ■中期経営計画の概要

福井銀行の存在意義である“企業理念（※）”の実現に向け、10年後のあるべき姿を「グランドデザイン」として掲げ、「お客さまが『そばにいてほしい』と思う日本一の銀行」を目指してまいります。この中期経営計画では、「目に見える」「一緒に動いている」と感じていただける営業活動の展開と相談・支援体制の構築を軸として、未来へのチャンスを創り出す各種計画を実行してまいります。

※企業理念…「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

## 目次

本誌では、中期経営計画「Create Chance Create Future」および地域密着型金融推進の取り組み方針に基づいて活動した内容についてご紹介いたします。

- ❖ 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 地域の面的再生への積極的な参画
- ❖ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

平成29年7月



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

# 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

## 創業・新規事業開拓支援への取り組み

### 方針

- ・お客さまとのコミュニケーション強化により、事業ニーズを的確に把握し、最適なソリューションをご提案します。
- ・常に安心・満足してご相談いただけるサービス機能の提供、人材の育成に取り組めます。
- ・多種多様なニーズにお応えするため、地元支援機関や外部機関との連携を強化します。

### ◆「ふるさと企業育成ファンド」の活用促進

平成23年9月に福井県および県内7金融機関により創設された同ファンド（ファンド総額：100億円、うち当行45億円を無利息貸付）では、「新分野展開スタートアップ支援事業」として、経営の多角化や事業転換を図り、新分野への事業展開を行う企業へ助成を行っております。

助成制度の運営母体である公益財団法人ふくい産業支援センター及び福井県内の支援機関（商工会議所・商工会）と連携し、お客さまの事業計画策定支援・申請手続き支援に取り組ましました。

平成28年度採択事業者	9社
うち当行経由による採択事業者	6社

※平成27年度実績  
採択事業者：11社  
うち当行経由で採択された事業者：6社

### ◆創業者支援体制の充実

平成27年8月にスピーディーな創業者支援を実現するため「ふくぎん創業支援ファンド」の取扱いを開始しました。また、平成28年4月よりグループ会社である株式会社福銀リースにおいて「創業者支援リース」の取扱いも開始しました。

平成28年度創業関連融資取組件数	35社
------------------	-----

### ◆地元支援機関との連携強化

創業支援強化を目的とし福井商工会議所の「開業サポートセンター」に、当行グループ会社である株式会社福銀リース・株式会社福井カード・福井ネット株式会社を「サポーター」として登録しました。

また、平成28年10月に福井県内の金融機関・関係団体が主催・後援する「創業支援セミナー」を開催することで、地元支援機関と一丸になり創業支援に取り組んでいます。

## 成長支援への取り組み

### 方針

- ・ビジネスマッチング活動を通じて、お客さまの新たなビジネスチャンスを生み出します。
- ・新たな金融サービス機能の開発により、多様な資金調達方法を提供します。
- ・海外展開や医療・農業などの専門性が高いニーズに対応できる人材を育成します。

### ◆ビジネス商談会の開催・参加

ビジネス商談会を開催し、お客さまの新たなビジネスチャンスの獲得支援に取り組んでいます。

- ・三越伊勢丹バイヤーミーティング  
参加企業数：5社（平成28年7月 福井開催）
- ・西武福井店商談会  
参加企業数：9社（平成28年8月 福井開催）
- ・2016鯖サミットin若狭おばま  
参加企業数：20社（平成28年10月 福井開催）
- ・第7回ネットワーク商談会 IN 大阪  
当行お取引先参加数：6社（平成28年11月 大阪開催）
- ・越前・若狭 食の國ふくい商談会  
～食の歳時記～（平成29年2月 東京開催）  
参加企業：19社

### ・FOODEX JAPAN2017

参加企業数：14社（平成29年3月 千葉開催）

### 第7回 ネットワーク商談会 IN 大



### ◆ビジネスソリューションの取り組み

当行のネットワーク（業務提携先含む）を最大限に活用し、お客さまへ最適なソリューションの提供に取り組ましました。

当行ソリューション案件の登録件数	2,472件
うちソリューション提供に至った件数	1,425件

（平成28年度実績）

◆海外進出支援への取組み

<バンコク駐在員事務所による現地支援>

お客さまのアセアン地域への事業展開をより積極的に支援していくために、平成26年11月にアセアン主要国であるタイ王国の首都バンコクに駐在員事務所を開設し、お客さまのアセアンビジネスのご支援を行っております。また、駐在員事務所内に、福井県と共同で「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」も開設しています。

<個別相談会開催による海外情報支援>

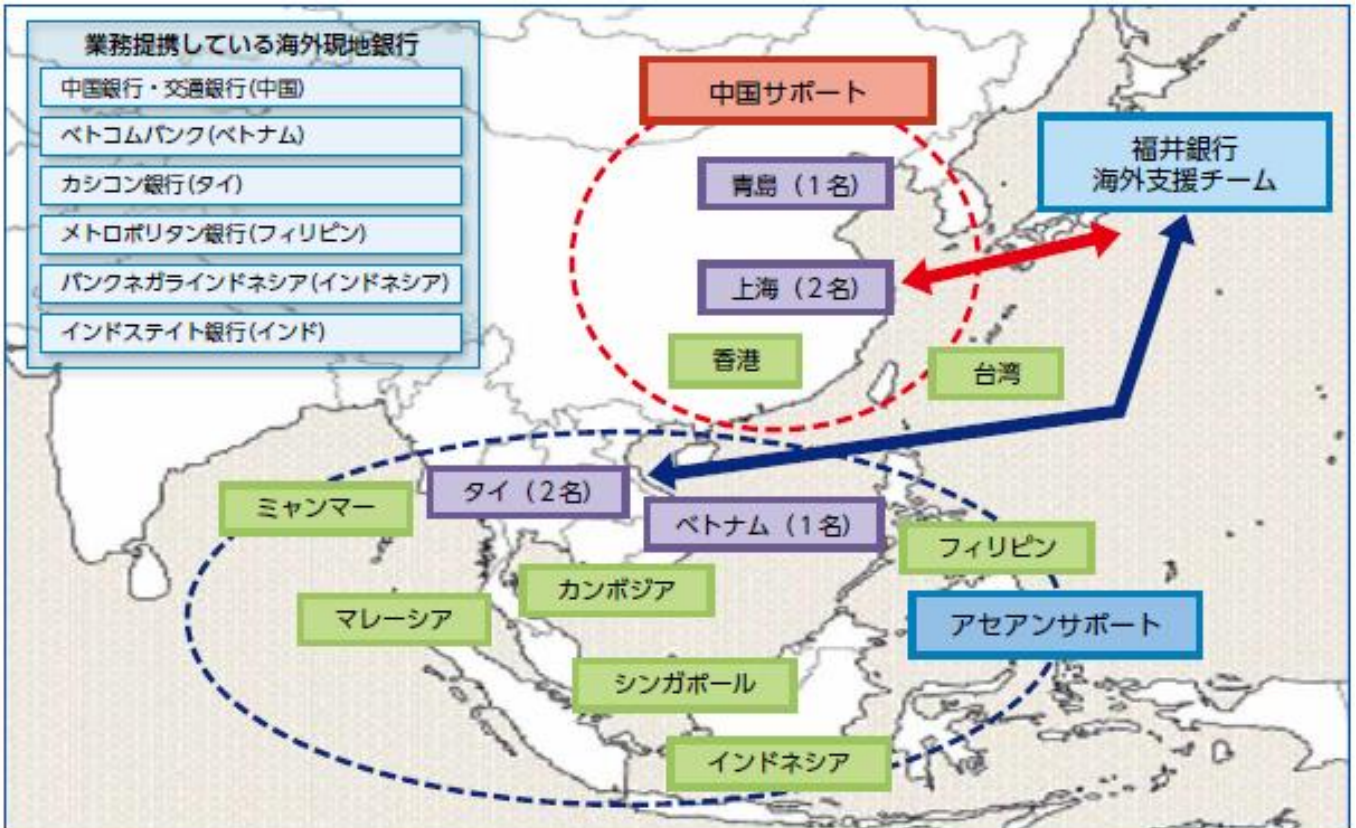
お客さまの海外展開に関する課題のソリューションの一環として、各国（中国、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア）の専門家を交えた個別相談会「アセアン・中国個別相談会」を平成28年8月に開催しました。

相談員：株式会社フォーバル  
 (ベトナム、ミャンマー、カンボジア、インドネシア)  
 株式会社アークビジネスサーチ（タイ）  
 株式会社ビーステップ（中国）

<海外商談会を通じた海外販路拡大支援>

お客さまの海外商談会への出展サポートを通じ、海外への販路拡大支援に取り組みました。

<海外への行員派遣・現地銀行との連携状況>



(平成29年3月末時点)

- ・ Mfairバンコク2016ものづくり商談会  
 (平成28年6月 バンコク開催)  
 参加企業数：191社 (うち当行お取引先：7社)  
 商談件数：3,823件
- ・ FBC上海2016ものづくり商談会  
 (平成28年9月 上海開催)  
 参加企業数：447社 (うち当行お取引先：10社)  
 商談件数：19,920件
- ・ FBCハノイ2017ものづくり商談会  
 (平成29年2月 ハノイ開催)  
 参加企業数：108社 (うち当行お取引先：4社)  
 商談件数：3,460件



<本部行員の帯同訪問等による支援態勢強化>

専門知識を持った本部行員が帯同訪問し、海外情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

- ・ 海外支援チームによる支援件数：717件  
 (平成28年度実績)



## 事業承継支援への取り組み

### 方針

- ・お客さまのニーズを的確に把握し、事業承継計画の策定・実践支援に取り組めます。
- ・本部専門部署の機能強化により、営業店と一体となってお客さまの計画を支援します。
- ・外部専門機関との連携強化により、さまざまな角度からの情報提供に取り組めます。

#### ◆セミナーの開催

地元支援機関と協力して医療・介護関係者を対象にセミナーを開催し、事業承継等に関する情報提供に取り組みました。

##### ・医療経営セミナー

「医療承継について～医業承継による体験談～」

(平成28年6月開催)

当行・一般社団法人福井県医師会共催

参加者：21名

##### ・医療・介護ビジネスセミナー

「医療・介護の事業承継型M&Aの最前線」

(平成28年10月開催)

当行主催

参加者：34名

#### ◆本部署行員の帯同訪問等による支援態勢強化

専門知識を持った本部署行員が帯同訪問し、事業承継・M&A情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

・本部渉外チームによる支援件数：368件

(平成28年度実績)

#### ◆次世代経営塾の開講

平成27年度に引き続いて、「第6期 福銀 次世代経営塾」を開講しました。

この経営塾は自社経営のさらなる発展をめざす次世代経営者の育成を目的としており、外部コンサルタントや県内地元講師と提携して講義を実施しています。

・「第6期 福銀 次世代経営塾」受講者 30名



## 経営改善、事業再生・業種転換等支援への取り組み

### 方針

- ・お客さまの経営課題について、財務面・事業面から分析・把握する支援を行います。
- ・お客さまの状況に応じ課題解決のための、最適なソリューションの提案を行います。
- ・ソリューション提案後も訪問活動を通じて、経営改善・事業再生を支援します。

#### ◆経営改善への取組状況

中小企業再生支援協議会との連携のほか、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を活用して、お客さまの経営改善支援・事業再生支援に取り組みました。

##### ・中小企業再生支援協議会

再生計画策定先	10件
現在進行中の案件（3月末現在）	8件

(平成28年度実績)

##### ・認定支援機関による経営改善計画策定支援事業

経営改善計画策定先	10件
-----------	-----

(平成28年度実績)

#### ◆貸出条件の変更等への取組状況

平成25年3月をもって金融円滑化法は終了しましたが、当行の取組姿勢に変更はございません。今後もお客さまからのご相談に真摯かつ迅速に対応していきます。

##### ・中小企業者

申込累計金額	9,229億円
うち対応累計金額	8,793億円

(平成21年12月～平成29年3月末までの累計実績)

##### ・住宅ローン

申込累計金額	207億円
うち対応累計金額	173億円

(平成21年12月～平成29年3月末までの累計実績)

# 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

## 方針

- ・お客さまのニーズを把握し、安心して選んでいただけるサービス・商品を提供します。
- ・お客さまが安心してご相談いただける人材を育成します。
- ・お客さまにご満足していただける分かりやすい説明を心掛けます。

### ◆インターネット支店（ジュラック王国支店）の開設

平成29年3月よりインターネット支店を開設いたしました。実際の店舗を持たず、「アプリ」「インターネットバンキング」「ATM(キャッシュカード)」でお取引いただけます。

### ◆新スマートフォンアプリの提供開始

- ・口座開設アプリ (平成29年3月取扱開始)

インターネット支店（ジュラック王国支店）の口座開設ができます。



- ・福井銀行アプリ (平成29年3月取扱開始)

普通預金口座の残高・入出金明細照会が即時ご利用いただけます。



- ・マネーフォワードfor福井銀行

(平成29年3月取扱開始)

家計簿アプリ「マネーフォワード」の福井銀行版がご利用いただけます。



### ◆JURACA（ジュラカ）で地域活性化

当行と株式会社福井新聞社は、多機能ICカードを軸とした地域活性化基盤「ふくい価値創造プラットフォーム」の構築を目指し、平成28年4月から全国で使える電子マネーサービスと独自の地域サービスを一体で提供するカード「JURACA（ジュラカ）」を発行・運営しております。平成28年10月には福井県の「ふるさと県民カード」第1号に認定され、地域社会の発展に寄与するカードとして一層のサービス拡充に努めてまいります。



### ◆WiL (Woman's inspiration Library)オープン

平成28年4月に福井駅西口再開発ビル ハピリン2Fに新規開設いたしました「WiL」が、平成29年4月に1周年を迎えました。開設後1年間で、約3万6千名の方がご来場いただき、またセミナー・イベントも約70回開催させていただくなど、多くの方々にご利用いただいております。今後も地域のお客さまの豊かな生活を実現するお手伝いをさせていただくため、約1,200冊の本に囲まれた「気づき・リラックス空間」のご提供・充実に努めてまいります。



### ◆セミナーの開催

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、各種情報の提供を行いました。

- ・ふくぎん フレッシュャーズセミナー2016

平成28年4月に新社会人となった方を対象として「ふくぎん フレッシュャーズセミナー2016」を開催しました。

5回目の開催となる今年度は、129社722名の新社会人の方々が参加しました。

- ・資産運用セミナー

多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、情報提供の場として「お客さまセミナー」を開催しました。 (平成28年度3回開催)

- ・年金・セカンドライフ相談会

これからセカンドライフをスタートされるお客さまが抱えるさまざまな疑問や不安にお応えするため、「年金・セカンドライフ相談会」を開催しました。参加されたお客さまからは「普段気になっていたことや今後のセカンドライフに向けて不安なことなどが気軽に聞けてよかったです。」とお声をいただきました。 (平成28年度5回開催)

### ◆相談拠点の充実

- ・休日相談会

休日にゆっくりとローンや資産運用の相談いただける休日相談会を10拠点で開催しています。

## 地域の面的再生への積極的な参画

### 方針

- ・地域経済のシンクタンクの役割を担うべく、情報の収集・蓄積・発信を行います。
- ・地域の産業調査による面的再生に向けた情報支援を行います。
- ・新たなビジネスチャンスへの提言を行います。
- ・金融経済教育の提供や企業見学の受け入れにより金融知識の普及・啓蒙に取り組みます。

### ◆地域のシンクタンクとしての取り組み

地域のシンクタンクとしての役割を果たすべく、景況アンケート・地域の経済情報・トピック情報・統計資料などを盛り込み「福銀ジャーナル」を四半期毎に作成し、情報発信に努めています。

### ◆まち・ひと・しごと創生に向けた取り組み

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化実現に向けて積極的に取り組んでいます。

#### ・地元大学との包括協定締結

産学官連携の推進に向けて、以下の大学と協定を締結しています。

福井大学、福井県立大学、福井工業大学

#### ・地元大学との産学官金コーディネーター制度の創設

平成29年度より、大学と福井銀行との間で、産学官金連携コーディネーター制度を随時導入していきます。この制度は、大学よりコーディネーターの委嘱を福井銀行行員が受け、福井銀行のネットワークを活用して地域企業が抱える技術的課題を把握した上で、大学への橋渡し、大学の研究者とのマッチングを行うことにより、地域企業の新たなビジネスチャンスの創出を目指していくものです。まずは、平成29年4月より福井大学で導入し、平成29年6月より福井県立大学で導入してまいります。

### <ファンドを通じた地場産業活性化支援>

#### ・福銀6次産業化ファンド

福井銀行・株式会社福井キャピタル&コンサルティングと、株式会社農林漁業成長産業化支援機構が共同出資し、平成26年9月に設立しています。北陸における1次産業者と2次・3次産業事業者との連携による新たな事業機会の創出・付加価値創造を目的に、6次産業化事業体への投資を中心とした資金提供や国内外への販路拡大支援等により、お客さまの成長戦略の後押しを目指しています。

#### ・ふくい観光活性化ファンド

福井銀行・株式会社キャピタル&コンサルティングと、株式会社地域経済活性化支援機構とREVICキャピタル株式会社が共同出資し、平成27年8月に設立しています。パイロット地域（福井県小浜市）及び福井県内において、周遊観光の促進を図り、観光消費額の増大を図ることを目的に、リスクマネーの供給及び専門家によるハンズオン支援を行っています。

### <IPOセミナーin福井>

平成29年1月県内企業の競争力強化・UIターンの人材確保といった地方創生の観点から、東京証券取引所・あずさ監査法人と連携して、株式上場を目指す企業向けに「IPOセミナー」を開催しました。

参加企業数：27事業者

参加者数：62名



### <PPP/PFIふくい地域プラットフォームの取組み>

福井銀行・北陸財務局・株式会社日本政策投資銀行と連携し、福井県内におけるPPP/PFI（注）の推進、公的資産マネジメントの支援を行う内閣府の地域プラットフォーム形成事業に選定されました（平成28年7月）。この地域プラットフォーム形成支援事業は、地域プラットフォームの取組みを通じてPPP/PFI事業の形成を目指す地域を対象に、プラットフォームの設置・運営からその後の継続的な運営体制の構築までを総合的に内閣府より支援をいただくものです。

この内閣府の支援のもと福井銀行（幹事）及び北陸財務局が事務局を担いながら、平成28年度に「ふくい地域プラットフォーム」を3回開催しました。第1回には設立記念と題してセミナーを開催し、第2回及び第3回には、セミナー及びワークショップ（模擬的な官民対話）を実施しました。

この取組みを通じて、地域の企業、金融機関、地域自治体等が集まり、PPP/PFI事業のノウハウ習得と案件形成能力の向上を図り、具体的な案件形成を目指した取組みを推進してまいります。

（注）PPP（Public Private Partnership：パブリック・プライベート・パートナーシップ）とは、行政主体による公共サービスを、行政と多様な構成主体との連携により提供していく新たな考え方。民間委託、PFI、指定管理者制度、民営化、地域共同、産学官連携等を含めた公民連携手法の総称。

PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法。





### <航空機産業への県内企業参入可能性の調査>

平成29年3月、ふくい産業支援センターの協力のもと、航空機産業育成に注力する富山県の航空機産業活性化の取組みを調査する見学会バスツアーを企画実施しました。

ふくいオープンイノベーション推進機構の注力分野である航空・宇宙分野での革新技术を用いた新商品開発・販路開拓を積極的に支援するため、今後も拡大が見込まれる航空機産業に対し、福井県内企業の参入可能性を調査、新事業・新分野へ挑むビジネスチャンスの創出を目指しています。

### <航空機産業への県内企業参入可能性の調査>

平成29年3月、三国高校、丸岡高校、坂井高校のPTAと福井銀行の共催で、高校生の親子が地域企業を見学する「企業と語る会」を開催しました。

将来の地域を担う若い世代に魅力あふれる地元の企業を知る機会を設け、ふるさと意識の醸成とUターンを含めた進路選択の幅を広げることを目的としています。

三国高校、丸岡高校、坂井高校の生徒・PTA 75名が参加。7コースに分かれて各コース2社（計14社）の見学会を実施しました。



### ◆公益財団法人福井銀行教育福祉財団

#### による寄附事業

教育の振興および福祉の向上に寄与することを目的として、毎年春と秋に福井県内の学校教育関係団体や社会福祉関係団体等に対して寄附事業を実施しています。

平成28年度は、計28団体に総額546万円を寄贈しました。

### ◆金融知識の普及・啓蒙

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学・啓蒙を通して、地域の明日を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでいます。

#### ・金融経済教育講座、職場見学の受入れ実績

小・中学生	24校 (30回)	892名 が参加
高校生	18校 (26回)	1,204名 が参加
大学生	2校 (2回)	54名 が参加

## 地域や利用者に対する積極的な情報発信

### 方針

- ・地域密着型金融の取組み状況について、積極的かつ具体的に情報発信します。
- ・地域のお客さまへ福井銀行が有する情報、ノウハウを積極的に発信します。

### ◆福井銀行が有する情報・ノウハウの積極的な情報発信

- ・インターンシップの開催  
インターンシップを18回開催し、計359名の学生の方々にご参加いただきました。
- ・マナー・顧客満足度向上セミナーの開催  
マナー向上・顧客満足度向上に向けたセミナーを37回開催し、31先計1,110名のお取引企業の社員の方々にご参加いただきました。

### ◆観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」による観光ガイドブックの発刊

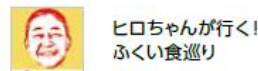
観光活性化に向け、女性行員で結成されたプロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が、昨年に引き続き地元ならではの視点で福井の魅力を盛り込んだ観光ガイドブック「いこっさ！福井 vol. 2」を発刊しました。

### ◆SNSでの情報発信

SNSを活用し、当行の取組内容の情報発信を行っております。



福井銀行



ヒロちゃんが行く！  
ふくい食巡り



WIL(ウィル)



福井銀行



福井銀行



ふくちゃん



福井銀行